

# 広報 まっだい

昭和44年11月20日発行  
 第134号  
 東頸城郡松代町公民館  
 館長 富沢清次  
 電話 松代1番  
 印刷 松代印刷所

## 今年も正月帰省バスが

### 年末の二十九日、三十一日に

十一月に入ると町内のあちこちから、出稼者が一斉に旅立って行きました。出稼ぎの町としてマスコミなどに取上げられ、その対策の健全さにおいて他の範として知られている私たちの町の本年度の計画を出稼組合に聞いてみました。「昨今の諸情勢では、好むと好まざるにかかわらず、やむを得ないものとして、皆で明るい出稼ぎを、留守家族の安心できる体制を考えてみたいものと申合せました」と語ってくださった係は更に怪

我や事故のない様、常に家族と文通のある出稼こそ、出稼者のもっとも強く留意するところと熱をもって強調されていました。もはや恒例となり、全国的にも知られている出稼者正月帰省バスについては、町役場と出稼組合で今年も計画し、年々その運営の実をあげるべく努力しているとのことでした。お話によりますと東京方面は二十八日・三十日の午後九時に上野文化会館前から、名古屋方面は二十八日・三十日



バスにのる出稼者



見送りの人

の午後八時に名古屋新幹線駅前、大阪からは二十九日の午後六時に八尾市植松六六六、光洋機械KKから、それぞれ故郷にむかって出発することになっています。申込みは十二月十日までに町役場の職業係にということですので希望される方は、お忘れなく申込みされる様にとの事でした。尚係では次の様な事を申添えていました。

1. 荷物はスーツケース一ヶ程度とすること。
2. 申込みの際は予約金を添えて申込むこと。
3. 再赴任には三日四日と東京方面のみ、第一次（第三次計画をたてゝいますので正月帰省と同時に係に話を聞き申込みのこと。

又出稼中、出稼者は怪我、事故がありましたら速やかに報告下さる様にしていたゞくと共に、毎月一日、十五日には家族のもとへ「愛の通信」を下さいます様重ねてお願いするということでした。

**住所の変更は忘れずに**

よく、転入・転出・転居・世帯主変更が役場窓口への届出を忘れがちです。これは法律でもきまっていますので、是非忘れずに届出をして下さい。お嫁さんにこられた方などは結婚届のみという場合がありますので、窓口でよく聞いて届出をされて下さい。転入届・転出届・転居届・世帯主変更届は十四日以内になってお

# 今年も文化祭が盛大に

## 富沢順平氏の個展など

十一月二日～三日にわたり恒例の町総合文化祭が今年も盛大に開催されました。

晴天に恵れ、參觀者は約五千名を越える人数で、文化の秋にふさわしい行事でした。

第一会場は新築なった松代小学校を会場に、近代的建築の中で、それぞれ展示の係は配置やら飾りつけに大変苦心をはらった様ですが、廊下を行き交う人達もぎっしりという賑いに努力も報いられたと喜んでいました。町内児童、生徒作品展、婦人会作品展、高校展書道展は年々その内容を充実させめずらしい切手展や、新しく今年参加した身体傷害者作品展は数多い參觀者にも会場をうめつくしていただきました。又文化展に華をそえてくださった、町出身(小荒戸)の画家で日本画府理事である富沢順平氏の個展は、故郷の人々に美しい日本画を堪能させて、関係者を喜ばせました。

第二会場は第四銀行前の菊花展に足をとめさせ、秋の香りを満喫させていました。公民館の生花展、自然愛護展はすばらしく、三日に行なわれた錦鯉の品評会と共に名物となりつつある感がいたしました。



よろこびの "ひたまひめ号"

## かがやく十五年連産の偉業

### 孟地の柳文八郎さん

#### 新潟県家畜登録 協会長表彰

孟地の柳文八郎さん飼育の和牛ひたまひめ号(昭和二十七年生)は昭和三十年以来十五年連産という驚異的記録をつくったので去る十月二十七日新井市で開催された頸城連合畜産共励会表彰式席上で新潟県家畜登録協会長より表彰されました。

十五頭連産の記録は県下では初めてで、勿論全国的にも極めて珍らしく牛の資質もさることながら柳さんの飼養管理の合理的なことがこの結果となって現われたことと思えます。

柳さんの話を聞くと特に変わったことはしていないが良質の野乾草を十分与えること。毎日一回は皮膚の手入を行ったこと。使役は十分にした方がよい。と聞いていますが、飼養管理の上で常に愛情をもって取扱ったことには間違いないようです。その他特に考へられることは既が四季を通じて陽あたりがよく既のすみまで日光が届くことでした。

十一月十五日松代家畜市場開催席上で表彰状伝達式を行い居合せた市場来場の皆さんから万雷の拍手がおくられました。



## 防空に従事して死傷した 警防団員等に対する特別 支出金の支給があります

旧警防団令による警防団員であった人で、旧防空法の規定に基づき、防空に従事され、そのため死亡し、負傷した人で、旧防空従事者扶助令による扶助金の支給を受けない人、又はその遺族に対して支給されることになりました。

内容は死亡警防団一人につき七万円、傷病警防団員一人につき五万円です。

多くは戦時中の警防団員になりますので、町内にその該当者がおられましたら、町役場の総務課まで申出下さい。申込切期日は四十五年一月三十一日までです。

尚、くわしいことは総務課にお問合せ下さい。

## 農業センサスが行なわれ ます

昭和四十五年二月一日現在で、実際の農家および林業家を対象として全国いっせいに農業センサスが行なわれます。

日本では五年に一回の周期で実施していますが、世界では十年に一回というところで実施しています

十二月一日に準備調査を行なって、来年二月一日の本調査にそなえるわけですが、その時には調査員が御家庭に伺って、いろいろ調査に当たりますので、御協力の程をお願い申し上げます。

この意義は、その時期における農業全般の実態を明らかにし、国は勿論町村においても、広く資料として利用するものです。町の農業の実態から初めて計画が考えられ実践ということが生れてくるのですから、是非協力をお願い申し上げます。



# あなたの胃は大丈夫ですか？

## 本年度の胃精密検診の結果

とかく話題になっていきます、胃ガンは、成人病とまで言われ最近とみに増加していると言われています。先般行なわれました胃精密検診の結果から見た状態はどうな

冬場をむかえるにあたり、各自の健康保持に充分留意せられ、特に成人病といわれるものに対しては、くれぐれも注意のことでした。

### 昭和44年度胃精密検診結果

会場名	受検者要精密要精密要精密		検査(1)		検査(2)		検査(3)	
	数	%	数	%	数	%	数	%
松代	6	100	6	100	6	100	6	100
室野	9	100	9	100	9	100	9	100
蒲生	3	100	3	100	3	100	3	100
計	18	100	18	100	18	100	18	100

その結果は別表の通りですが、昭和四十一年にくらべると少なくなっている様です。

これは都内ほとんど同じ位の率になっていきますが、考えてみなければならぬ数である様です。又要注意者(主として胃下垂症)を加えると男三六・四%、女二二・九%となり、高い率となっております。

## 市外通話が早くなります

— 11月30日午前0時から —

### 市外通話のかけかた

今まで当局で取扱っておりました市外通話の受け付けは、こんど安塚電報電話局で、又、電話による電報は直江津電報電話局で取り扱うことになりました。

▲即時通話(すぐつながらる地域で、電話番号簿の二頁にのっています)

。ハンドルをまわして当局の交換手が出ましたら「即時」とお告げ下さい。

。「即時です」と応答がありましたら、あなたの局名(松代)電話番号と相手の局名、電話番号をはっきり告げてそのまゝお待ち下さい。すぐつながります。ただし農集電話は別です。

。通話が終了したら受話器を正しくかけ、必ずハンドルを三〜

四回まわして下さい。

▲待時通話(大割野、宮野原、津川だけです)

。ハンドルをまわして交換手が出ましたら「待時」とお告げください。

。「待時」ですと応答がありましたら、今まで通りの方法で申込み、いったん受話器をかけてお待ちください。

▲通話料金を知りたいときは、市外通話を申込みの際に「すんだら料金を知らせてほしい」旨お告げ下さい。通話がすみましたら、いったん切ってお待ち下さい。局の方から呼んでおしらせいたします。

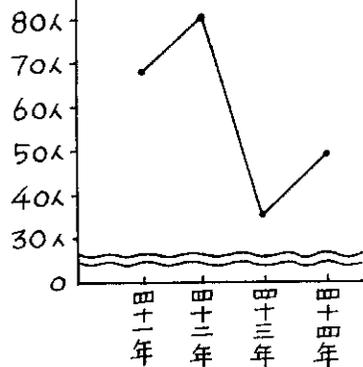
### 電話で電報をうつとき

。ハンドルをまわして局の交換手が出ましたら「電報」とお告げ下さい。

。「電報係です」と応答がありましたら、局名・電話番号・お名前を告げてから電文をおくって下さい。

は図表の通りです。

年度別要精密者数



### この広報を出稼先へも

一家の御主人が大半出稼されたことと思えます。その人達は、どんなにか故郷の便りをまちわびていることでしょう。

この広報は一家でお読みになったら、お便りと一緒に是非出稼先へもお送り下さい。きっと喜んでもらえると同時に、御主人ならば来年度の計画の中に、何等かの形で生かそうと、お考えになる材料にもしていただけるものと思えます。ですのでお願いいたします。

広報編集部

### 局番がきます

〇二五五九七 市外局番です。知人、友人、親せきに手紙でお知らせして下さい。

年賀状は十二月二十二日まで小包は早目に!

差出人の郵便番号も忘れずに

年賀状の受け付けは十二月十五日から始まります。年賀状の特別取り扱い期間は二十八日までですが、元日配達に間に合うように、是非二十二日までにお出し下さい

### あて名は正確に

あて先の住所がまちがっていたり、番地などが省略してあるために、毎年多くの「迷い子」が出ます。郵便番号、都道府県名、丁目番地まできちんと書きましょう。同姓同名者あてには〇〇方とか屋号など肩書きもぜひ忘れずに。

### あなたの郵便番号も

年賀状には必ず郵便番号を

松代郵便局

# 今年もこんなに葉たばこが

## 収納成績が発表される

春以業耕作者の皆さんの汗の結晶が十一月四日から八日まで、松代町をトップに収納が開始され、その成績がこの程まとなり、係より発表になりました。

それによりますと、前年に比較して、八月前半の異常な長雨により、下葉の流れと品質低下により関係者を心配させましたが、好成績とは言えないにせよ、一〇アル当りとしては、前年よりも約八%よく、平均一六、六三二円になりました。

収納の実績は、耕作者一〇六名作付面積一六二九、二アールであり、そこから三九、三五九・〇キログラム収納されました。その結果総代金として約一九〇〇万円が決定しました。又最高所得者は耕作面積が弐セアールで弐一、六〇〇円最高反当り所得者は一六二、〇九九円でした。これも昨年度より約一割多く、将来耕作者にとって明るい見通しをたてさせています。尚係の話しでは、今後稲作のみの農業経営から脱皮し、時代に即応した型が望まれるとしたり、こ

これらの葉たばこ耕作などは真剣に考えて行かねばならないものの一

つではなかるうかとのことでした町でも農業構造改善事業の一環として、養蚕、和牛飼育、葉たばこ耕作には力を入れておりますので、今後一層皆さんの期待に添える様努力するとも言われていました。尚各部落別集計は別表の通りです。

葉たばこ部落別収納実績表

部落名	人員	面積	量	目	収納代金	10アール当		kg当
						量目	金額	
松代町	7	94.4	2,290.0	kg	1,146,480	243	121,449	501
中下町	8	92.9	2,383.0	kg	1,120,185	257	120,580	470
之	1	10.1	264.5	kg	120,810	262	119,614	457
池田	10	198.7	5,188.5	kg	2,615,190	261	131,615	504
太田	1	15.1	364.0	kg	149,475	241	121,507	504
池犬	2	17.1	381.5	kg	201,035	223	117,564	527
沢尻	17	314.0	8,146.0	kg	4,142,210	259	131,918	508
伏水	1	13.6	418.5	kg	188,000	308	138,235	449
沢地	7	125.7	3,019.0	kg	1,366,525	240	108,713	453
子山	7	114.3	2,880.0	kg	1,263,920	252	110,579	439
鳥生	6	128.1	3,059.5	kg	1,514,165	239	118,201	495
平明	6	88.1	2,198.0	kg	1,134,930	249	128,822	516
貫納	4	65.2	1,846.5	kg	877,045	283	134,516	475
野原	6	72.3	1,438.0	kg	699,630	199	96,775	487
和	4	41.3	1,030.0	kg	514,665	249	124,616	500
木	3	51.8	831.5	kg	389,840	161	75,259	469
田	1	10.4	226.5	kg	108,330	218	104,163	478
原	4	88.3	1,427.5	kg	600,100	162	67,961	420
野	1	10.0	227.5	kg	100,365	228	100,365	441
原	3	24.1	559.5	kg	230,015	232	95,442	411
野	3	13.4	304.5	kg	135,980	227	101,477	447
原	1	6.6	123.0	kg	58,125	186	88,068	473
野	3	33.7	752.0	kg	324,640	223	96,332	432
合計	106	1,629.2	39,359.0	kg	19,001,710	242	116,632	483

## 部落公民館めぐり

### 会沢部落公民館の巻

部落のほほ中央、道路添えにある公民館は古くから青年会館として、階下は消防器具置物、二階を会議場として、主に青年会が使用してきた。私の訪れたのは二階の窓から雄大な黒姫山が目前にのぞまれ、山の斜面に点在する各戸のくす屋根に秋色の深さをおぼえる日であった。

この部落は最近青年活動よりもむしろ老人クラブが活発化し、この建物を利用する度合が多くなりつゝある。一頃多数をほこった青年層がめっきりとその数を減らし部落の大きな問題点とされている農作業のほとんども、労働力の

老令化を裏付けけるかの様に、若者の姿をあまり見ない中で、農業経営を真剣に考え、少しでも前向きにとの意欲をもやしているのが婦人会であり婦人学級である。平均四反五畝の水田では、そのみに頼ることはできないとして、和牛飼育、養蚕、葉たばこと考えられる可能な経営方法を研究し、実践に移している。おやじさん方は大多数が出稼ぎということで、春の帰省も年々遅れがちで、今ではお母さん方の意見が大巾に経営の中に取入れられてきている。

この部落は戸数四十八戸、その中農家数四十四戸という実状だが公教育としての公民館活動は、今初まったばかりの感がする。数多い地域の中の問題点の中で、部落の実態を部落の人たちがしっかりと把握し、各層、各団体による話

し合いが今後何回もたれ、自らの意識の中で村づくりがなされる日が早く来ることを強く望んで止まない。

### 訂正とおわび

先月の広報紙に「町PTA大会開らる」を掲載いたしました。したが、その記事の中で「九時半の開会式には、町助役教育長の祝辞がのべられ……」とありましたが、当日は町長が出席されましたので、つゝしんで訂正いたします。

尚各分科会々場もまわられ、皆様の研究の中にも入られ、終日一諸に研究されたことを申添え、訂正とお詫び申し上げます

(編集部文責者)